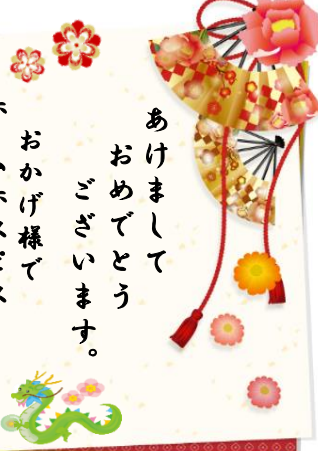




ホームホスピス 新春号 セ・ラ・ヴィ!通信

セ・ラ・ヴィ!の四季 秋から冬 そして・・・迎春

おかげ様でホームホスピスセラヴィ!は三度目のお正月を迎えました。今後も皆様と一つ一つを重ね、より良い「もう一つの家」となりますよう精進して参ります。



あけましておめでとう
おめでとうございます。



セラヴィの玄関は、「おはよう」「行ってきます」「ただいま!」「お帰りのさい」「こんにちは〜」「また来ま〜す」etc. の声がたくさん聞こえて来ます。皆さんどうぞ気軽にいらして下さい。



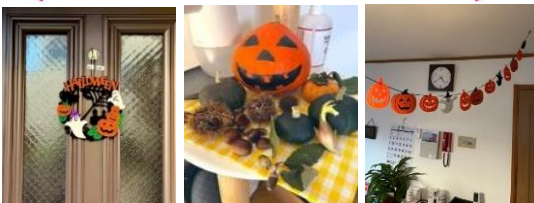
Merry Christmas



夜長のライトアップ
す・て・き
安全運転
今行きます!
駅の駐輪場!? いいえ、セラヴィの駐輪場です。訪問看護師さんやヘルパーさんの自転車で賑やかです。



HAPPY HALLOWEEN



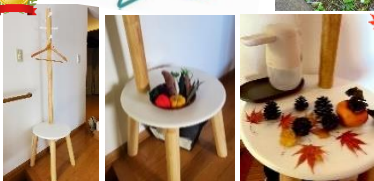
トリック オア トリート
おけ様様の「いろいろ」はしっかりと召し上がりました。

セラヴィの万能選手
ある時は飾り台
ある時は椅子
ある時は手すり
ある時は上衣掛け
ある時は消毒液台



多年草・百日草
長い期間咲く花たち
色とりどりで
きれい

ハロウィンの飾りつけ・・・毎年行っていますが、実は入居者さんから「怖い」というご意見がありました。なので・・・中央のカボチャはセラヴィールで笑顔にしてみました。すっかり秋の風物詩となった「ハロウィン」。お菓子を食べてしっかり魔除け



4年ぶりのお神輿!
地域の力に感謝です。
セラヴィのスタッフも
お手伝いさせて頂きました。



【それぞれのセ・ラ・ヴィ!】～同時期に入居したCさんとDさんのエピソード～

Cさんはもともと独り暮らし。諸々の事情により70年以上生活したご自宅を離れてセラヴィに入居しました。入居当初、夜中に物音がするのでCさんの部屋にゆくたく「これから買物にゆきます!」と険しい表情で立ち上がった。夜中だからお店は閉まっている、開いたら行きましよう、外は暗いから、寒いですよ。などと伝えても聞き入れず、1階のリビングから一緒に外を見て夜中の2時であることを伝えたところ、眉間にしわを寄せて「あらそ〜、チョコレートがないと困るのよね〜」と本当に困った表情で言いました(チョコレートか〜)。しばらく昼夜逆転と険しい表情は続きました。2年が経過した今はすっかりセラヴィの住人。生活のリズムも整い、よく笑い、よく食べ、よく出しています。2年更新時の意思確認では「ここに居たいです」と。。Cさん、今後とも宜しくお願い致します。

Dさんは終末期ということで入院先から直接セラヴィに入居しました。積極的な延命は行わないというDさんの意向のもと、ご家族と相談しながら、無理強いせず自然に任せて欲するがままにと、最初はスプーン一杯の水から始まりました。ある時食堂に移動、他の入居者が食事しているのを見て「私も食べていいの?」とはっきり言ったのです(いまなんど?).そこからDさんの快進撃が始まりました。食事介助を受け、リハビリを行い、自分で食べられるようになり、徐々に食事形態も変わっていき・・・そしてある時、「おかげにカレーはないでしょう〜!」と(はい、ごもつと)。その日以来、普通食を食べるようになり、リハビリも頑張り続けて、1年経つ頃には自分トイレにも行けるようになりました。デイサービスにも行くようになり「楽しくて楽しくて」と。。2年後は更新せずにホームホスピスセ・ラ・ヴィ!をご卒業されました。。今後どうぞDさんらしく、色々なことを楽しんで下さい。

・痛末期・終末期・医療依存度の高い方・退院後自宅の準備が整うまで一時的なご利用など
・医療保険・介護保険(訪問診療・訪問看護・訪問介護など)を利用します。
・24時間スタッフが常駐しています。その他ご不明な点、ご相談下さい。 → → →

入居・見学などのお問い合わせは・・・
(株)けせら 担当:市川・日高
tel・fax 03-5840-6871

ホームホスピス セラヴィの運営は「NPO法人 幸せのとんぼ」と「株式会社 けせら」が共同で行っています。

ホームホスピス セ・ラ・ヴィ!
〒112-0011
東京都文京区千石1-6-36
tel・fax 03-5810-1810



株式会社けせら
訪問看護ステーションけせら
ヘルパーステーション せら
せら定期巡回随時対応型訪問介護看護
居宅介護支援事業所けせら

